

串原林業

調査団体名	串原林業	団体代表者名	三宅大輔
設立年	2007年	対応してくれた人の名前	三宅大輔
団体URL	なし		
活動拠点	岐阜県恵那市串原	調査員	近藤 朗、蔵治光一郎、安藤理恵、田中五月
取材日	2013年12月10日	レポート作成者	田中五月

活動内容

現在の従業員は3名、2014年4月からは農業部を立ち上げ5名体制となる。恵那地域で初めて、民間事業体で経営計画を作成し、交付金をもらって林業を実施している。

現在は20～30人の山主のものである50haの森林の経営計画を立てている。

民間事業体で林業を行うことは非常に大きな意味がある。旧来の森林組合だけの林業では、交付金をもらうための計画となってしまう、本来の山づくりとはかけ離れた状態となっているケースが多かった。

一方で、三宅さんのように意欲のある民間事業体だけでやろうとしても、経営計画の作成、交付金の申請、交付金情報の収集など、民間事業体だけでは難しいことが多々存在していた。

これを、恵南森林組合と協力して、民間事業体でも経営ができる状態としている好事例。

会のモットー(何を大切にしているか)

串原の山守となる。
山だけでなく、串原の地域も守る。

設立から現在に至るまで変化したこと

6年前に独立したものの、最初は森林組合の下請けだったが、2013年度からは自力で経営計画を立てることができるようになった。

自力で経営計画を立てることにより、木が非常に傷みやすい夏場は「伐らない」と決めることができるようになった。

連携している団体・専門家・自治体など

恵南森林組合、恵那市 林業振興課、恵那市 串原振興事務所、恵那農林事務所 林業課

山村再生や、その担い手づくりに関わる具体的な活動(例:小仕事づくり、山村・森林資源活用など)

三宅さんが恵南森林組合で働いていた時期、毎日遠くの国有林まで移動して、林業を行っていた。移動中、車の中から「串原の山を整備したい、何とかしたい」という思いを何度も強く抱き、独立を決意。

独立後は、2013年に経営計画策定までこぎつけ、2014年には地元の高校生が就職することが決まっている。

「地元串原の山を、地域を守る」という思いで、さまざまな計画を作成中。※〈今後やってみたいこと〉に記述

現在直面している課題

A材は市場で売れるが、B材以下は市場では売れないので、何らかの対策を考える必要がある。

例えば、市場に卸すのではなく、地域で「少々の曲がりや問題はなし、この地域の木材で家を建てたい」という方々に直接売るなど。

今後やってみたいこと

1. 串原林業のストーリーを付加価値として、市場だけでなく、直接工務店や消費者に届けられるような形にしたい。
⇒xx年後にこんな山を目指して林業をしている、林業と農業で串原を元気にする、B材/C材は地元温泉で薪利用など。
2. 串原農林業という形にしたい。
⇒前述のように夏は木を伐らず、代わりに農業を行う。今ちょうど、大学などの学食の料理を作る名古屋の会社に収穫物を売るといった話があり、進めたい。

そのためにはどんな情報・人脈が必要か

串原林業が大事にしている「技術」と「ソフト面での戦略」を担ってくれる、もしくはサポートしてくれる人が必要。
⇒調査チームが考えるには、名古屋など都市部にも串原林業のソフト面での戦略を支えるパートナーがいると良いと感じた。

その他、伝えたいこと

本職が林業なので「串原の山を守っていききたい」という思いが非常に強いが、それだけにとどまらず、へボ祭りなどの文化継承、観光案内所などのような町のインフラづくりも併せて行い、「串原を守っていききたい」「子どもたちに誇れる串原にしたい」という思いが強い。

社会背景として、行政の人員削減、助成金などの減少からくる町のインフラ会社(土建屋など)の減少があるため、三宅氏のように本職だけにとどまらず「地域全体をなんとかしたい」という思いを持つ人の存在は、農山村社会に非常にインパクトがある。また、今後の農山村社会ではこのような人がどの町や村にも育っていく必要がある。串原林業としても、林業だけでは経営が難しい時期が来ても、農業や土建的な仕事で会社を安定させることができるし、串原の住人からしても「串原林業であれば、たいていのことはやってくれる」となると、安心して生活できる。

4月から農業部門を設立し、串原林業から『串原農林』と名称を変更する予定。

調査チームからも、林業だけでなく、へボ文化継承などを含めて、広く地域に役立つ会社になるとよいのでは、という意見が上がった。

写真



現場で三宅氏に説明を受ける調査員



こんな50年クラスの檜が、市場卸値67,000円とのこと。
林業従事者でなくとも、何とかしたい！と思ってしまう



パートナーの方が作業道をつくっている最中だった



現場にある移動式製材機(40cmまで製材可能)